

資料 2-1

令和3年11月11日

令和3年度

第1回福知山市上下水道事業経営審議会 報告資料

令和2年度水道事業会計・  
下水道事業会計決算について  
(経営戦略と令和2年度決算の比較)

上下水道部 経営総務課



# 目次

①令和2年度水道事業会計決算について

②令和2年度下水道事業会計決算について

# ①令和2年度水道事業会計決算について

## 事業環境

	決算	経営戦略	増減	
給水人口(人)	76,316	77,864	△1,548	98.0%
水需要(m <sup>3</sup> /日)	25,644	25,616	28	100.1%
料金収入(百万円)	1,594	1,583	11	100.7%

水道事業経営戦略 水9～10ページ

給水人口は毎年度減少しています。

給水人口・水需要・料金収入について経営戦略において減少を見込んでいますが、新型コロナウイルス感染症の流行に伴う巣ごもり需要等により、水需要・料金収入については令和2年度は増加する結果となりました。

# ①令和2年度水道事業会計決算について

## 投資・財政計画

(単位:千円)

	決算	経営戦略	増減	
年間投資額	958,498	1,344,268	△385,770	71.3%
借入残高	10,772,917	11,109,039	△336,122	97.0%
繰入金	444,682	368,479	76,203	120.7%

水道事業経営戦略 水13～14ページ

年間投資額＝建設改良費（管路や施設を拡張・更新する費用）

令和2年度目標：13.44億円 ⇒ 令和2年度実績：9.58億円

# ①令和2年度水道事業会計決算について

## ～収益的収入～

	決算数値	経営戦略数値	増減	増減率
料金収入	1,594,172千円	1,583,770千円	10,402千円	100.7%
受託工事収益	26,472千円	65,171千円	△38,699千円	40.6%

### ・料金収入

給水量が予定給水量9,350,000<sup>m</sup>³/年に対して9,360,120<sup>m</sup>³/年と10,120<sup>m</sup>³/年増加（+0.1%）

家庭での使用量が大きく増加しており、新型コロナウイルス感染症の流行による巣ごもり需要等による増加と推測される。

### ・受託工事収益

国・府の関連工事や5か年計画で実施していた下水道事業の浸水対策事業にかかる配水管移設工事等の減少により、費用が減少したことに伴い収入も減少

令和3年度以降については工事数の減少により、経営戦略の見込みに近い数値で推移していくものと見込んでおり、経営戦略の数値と類似する見込み

# ①令和2年度水道事業会計決算について

## ～収益的支出～

	決算数値	経営戦略数値	増減	増減率
修繕費	38,601千円	84,532千円	△45,931千円	45.7%
受託工事費	34,720千円	84,081千円	△49,361千円	41.3%

### ▪ 修繕費

令和2年度については給水管取替修繕を伴わない補助対象工事や拡張工事に注力したことで建設改良工事が減少し、それに伴って給水管取替修繕も減少

### ▪ 受託工事費

受託工事収益同様に国・府の関連工事や5か年計画で実施していた下水道事業の浸水対策事業にかかる配水管移設工事等の減少に伴い、減少

# ①令和2年度水道事業会計決算について

## ～収益的収支～

	決算数値	経営戦略数値	増減	増減率
収益的収入	2,241,024千円	2,287,086千円	△46,062千円	98.0%
収益的支出	2,126,558千円	2,278,856千円	△152,298千円	93.3%
特別利益	0千円	8,424千円	△8,424千円	-
当年度純利益	114,466千円	16,654千円	97,812千円	687.3%

収益的収入 2,241,024千円 - 収益的支出 2,126,558千円 + 特別利益 0千円  
= 当年度純利益 114,466千円

料金収入の増加や、受託工事収益と受託工事費の収支差引の改善等により、経営戦略を97,812千円上回る結果となりました。

経営戦略において令和3年度以降は料金収入等の減少やコロナ禍の影響等が想定されることから、今後の推移を注視する必要があります。

# ①令和2年度水道事業会計決算について

## ～資本的収入～

	決算数値	経営戦略数値	増減	増減率
企業債	536,300千円	872,500千円	△336,200千円	61.5%
工事負担金	13,502千円	30,394千円	△16,892千円	44.4%

### ■ 企業債

令和3年度への繰越に伴う建設改良費の減少等に伴い、減少  
建設改良費から職員給与費を除き、国府補助金を差し引いた額の約70%を借り入れる見  
込みとしていた ⇒ 令和2年度は70.6%（企業債借入実績）

算式）建設改良費 958,498 － 職員給与費 56,473 － 国府補助金 142,651 ＝ 759,374千円  
759,374 × 70% ＝ 531,561千円（企業債借入見込み額）

### ■ 工事負担金

府の河川改修工事の進捗状況により、補償工事が未施工となったこと等により減少  
例）私市地内 相長川改修工事に伴う配水管移設工事

# ①令和2年度水道事業会計決算について

## ～資本的支出～

	決算数値	経営戦略数値	増減	増減率
建設改良費	958,498千円	1,344,268千円	△385,770千円	71.3%

### ▪ 建設改良費

堀山第3系統配水管の接続待ちにより堀山第1系統送水管布設替工事が未施工となったこと等により減少

また、令和2年度から令和3年度への繰越工事も減少の要因となった

令和3年度への繰越額 208,538千円

令和3年度以降については、令和2年度決算数値と近い数値での推移を見込んでおり、経営戦略の数値と類似する見込み

# ①令和2年度水道事業会計決算について

## ～資本的収支～

	決算数値	経営戦略数値	増減	増減率
資本的収入	989,761千円	1,359,984千円	△370,223千円	72.8%
資本的支出	1,837,467千円	2,223,315千円	△385,848千円	82.6%
不足する額	847,706千円	863,331千円	△15,625千円	98.2%

資本的収入 989,761千円 － 資本的支出 1,837,467千円 ＝  
不足する額 847,706千円

建設改良費の減少に伴い収入についても減少となり、経営戦略における不足額の見込みと概ね一致する結果となりました。

## ②令和2年度下水道事業会計決算について

### 事業環境

	決算	経営戦略	増減	
処理区域内人口(人)	76,584	77,061	△477	99.4%
使用料(百万円)	1,754	1,670	84	105.0%

下水道事業経営戦略 下14～15ページ

処理区域内人口は毎年度減少しています。

処理区域内人口・使用料について経営戦略において減少を見込んでいますが、新型コロナウイルス感染症の流行に伴う糞ごもり需要や長田野工業団地での需要の高まりにより、料金収入については令和2年度は増加する結果となりました。

## ②令和2年度下水道事業会計決算について

### 投資・財政計画

(単位:千円)

	決算	経営戦略	増減	
年間投資額(合算)	2,178,972	3,648,972	△1,470,000	59.7%
借入残高(公共)	15,223,884	16,005,083	△781,199	95.1%
借入残高(特環)	2,518,892	2,592,792	△73,900	97.1%
繰入金(公共)	635,845	679,034	△43,189	93.6%
繰入金(特環)	170,124	191,375	△21,251	88.9%

下水道事業経営戦略 下21～23ページ

年間投資額＝建設改良費（管路や施設を拡張・更新する費用）

令和2年度目標：年間約36.49億円 ⇒ 令和2年度実績：21.79億円

## ②令和2年度下水道事業会計決算について

### ～収益的収入～

	決算数値	経営戦略数値	増減	増減率
料金収入	1,753,747千円	1,670,220千円	83,527千円	105.0%
他会計補助金	340,977千円	398,443千円	△57,466千円	85.6%

#### ・料金収入

有収水量が処理予定量11,578,100m<sup>3</sup>/年に対して12,275,196m<sup>3</sup>/年と697,096m<sup>3</sup>/年増加(+6.0%)

家庭での水量増加に加え、長田野工業団地の一部企業で品質設定基準の変更等により増加した

#### ・他会計補助金

分流式下水道にかかる減価償却費や不明水量が減少したことに伴い、減少

## ②令和2年度下水道事業会計決算について

### ～収益的支出～

	決算数値	経営戦略数値	増減	増減率
動力費	169,480千円	210,460千円	△40,980千円	80.5%
修繕費	147,091千円	191,239千円	△44,148千円	76.9%

#### ・動力費

和久市ポンプ場等における重油購入単価が安価となったことに伴い、減少

※施設の規模が大きく使用量が多いことから、市場の影響が大

重油単価が安価となり、電気料金も見込みより減少した

#### ・修繕費

マンホール蓋や公共汚水柵等の修繕が令和2年度については減少となった

予算規模が大きく、約1割の請負残によっても減少となった

例) 処理場費 修繕費 予算 136,784千円 決算 122,748千円 差額 △14,036千円 (89.8%)

## ②令和2年度下水道事業会計決算について

### ～収益的収支～

	決算数値	経営戦略数値	増減	増減率
収益的収入	3,449,023千円	3,460,527千円	△11,504千円	99.7%
収益的支出	3,147,443千円	3,323,447千円	△176,004千円	94.7%
当年度純利益	301,580千円	137,080千円	164,500千円	220.0%

収益的収入 3,449,023千円 － 収益的支出 3,147,443千円 ＝  
当年度純利益 301,580千円

動力費や修繕費等の費用の減少により、経営戦略を164,500千円上回る結果となりました。

経営戦略において令和3年度以降は料金収入等の減少やコロナ禍の影響等が想定されることから、今後の推移を注視する必要があります。

## ②令和2年度下水道事業会計決算について

### ～資本的収入～

	決算数値	経営戦略数値	増減	増減率
企業債	1,128,500千円	1,983,600千円	△855,100千円	56.9%
国府補助金	808,839千円	1,348,993千円	△540,154千円	60.0%

#### ■ 企業債

令和3年度への繰越に伴う建設改良費の減少に伴い、減少  
企業債償還の負担を軽減するための資本費平準化債については予算額通り借り入れ

#### ■ 国府補助金

令和3年度への繰越に伴う補助事業費の減少に伴い、減少

令和3年度への繰越額 607,368千円

## ②令和2年度下水道事業会計決算について

### ～資本的支出～

	決算数値	経営戦略数値	増減	増減率
建設改良費	2,178,972千円	3,648,972千円	△1,470,000千円	59.7%

#### ■ 建設改良費

主に令和2年度から令和3年度への繰越工事が減少の要因となった

令和3年度への繰越予算額 1,345,987千円

経営戦略は「R1繰2予算」「R2現年予算」の合算による数値

令和元年度からの繰越予算額 1,918,743千円

令和元年度からの繰越額 1,432,243千円（実績）

令和3年度以降については、令和2年度決算数値と近い数値での推移を見込んでおり、経営戦略の数値と類似する見込み

## ②令和2年度下水道事業会計決算について

### ～資本的収支～

	決算数値	経営戦略数値	増減	増減率
資本的収入	2,058,274千円	3,490,419千円	△1,432,145千円	59.0%
資本的支出	3,378,474千円	4,848,475千円	△1,470,001千円	69.7%
不足する額	1,320,200千円	1,358,056千円	△37,856千円	97.2%

資本的収入 2,058,274千円 － 資本的支出 3,378,474千円 ＝  
不足する額 1,320,200千円

建設改良費の減少に伴い収入についても減少となり、経営戦略における不足額の見込みと概ね一致する結果となりました。

